

**新**年明けましておめでとうございます。本年も「Raisers」をよろしくお願ひいたします。

この年末年始は、コンビニの24時間営業の是非が1つの話題となりました。いつでも開いていれば利用者にとっては便利だし、治安の面からもたまたま帰宅が深夜になった女性にとって安心な存在だと思えます。

ただ、店によっては深夜の来店客が見込めないところもあるし、客がいないのに店員を配置するのは勿体ないところ。場合によっては、深夜の明かりによからぬ人々がたむろして、かえって治安が悪くなることもないとは言えません。また、深夜営業が基本になると、商品搬入も深夜が多くなり、関連業界までハードな勤務体系になってしまうデメリットもあります。

現状維持をよしとせず、常に社会全体の中での自社を考えることが重要だと思います。経済成長著しい時代であればメリットは大きいかもしれませんが、今はもうそういう時代でもありません。コスト対効果の面からも、従業員の豊かな生活の面からも、24時間営業の是非を考え直す時期に来ているのかもしれません。昔は店名の通り、朝7時から夜11時までの営業で不便はなかったのですから。

そのような感じで、人の振り見て我が振り直せ、で自分も常に広い視野で物事を考えるよう心掛けたい、と思っはいるのですが……。(Y.H)

**イ**ノシシが東京の足立区や八王子に出没し、騒ぎになりました。札幌の住宅街へのヒグマの出没をはじめ、2019年は野生動物が市街地等にしばしば登場した印象があります。筆者は、旅行先や自宅付近でヒグマ、エゾリス、エゾシカ、キタキツネ、ライチョウ、ペリカン、アザラシ、ラッコ、ニホンザル、タヌキ、さらには野生化したハクビシン、タイワンリス等を目撃しており、貴重な経験に気をよくしているのですが、野生鳥獣による農作物等への被害も増加しているようで、被害者にとっては頭の痛い話かと思えます。

鳥獣被害対策としては、侵入防止柵や捕獲檻の設置、猟友会の方々の活動等が行われており、最近では、カメラやセンサ、GPSによる遠隔監視や生息域調査、音による追い払い等においてICTが役立っています。一方、当のICT関連では山間部に敷設されたケーブル類に、げっ歯類（リス、ネズミ等）、昆虫、鳥類による被害があるそうです。こちらは、防リスシール、防リスシート、その他ケーブル内のステンレス層等により心線に影響が出ないよう対策が施されており、さらにはこれらの鳥獣がケーブルに触れないよう、設備に接触している木の枝等の除去や、防鳥用品の設置等の対策をしているそうです。意外とアナログな側面です。(I.O)

### こんな時が危ない!

- 工事繁忙期よりも、終期、特に撤収作業時
- 非常に危険と思われる作業よりも、それほど危険と思われない作業時
- 同一作業が長く続くよりも、1日~2日とか半日、あるいはもっと短時間で終わる作業時
- わかりきった常識的な作業手順を守らない時
- 作業時に積極的な人が、指示以外の作業をした時
- 安全設備を取りつける段取りに取りかかる前
- 教育を十分うけているはずの職長や工事監督がルール無視の行動をした時
- 立入り禁止箇所、危険箇所を承知して、そこへ行った時

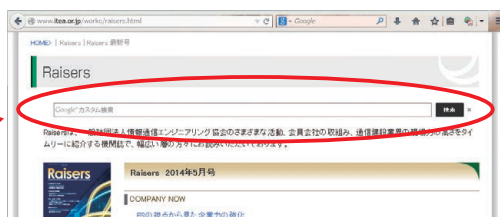
### 「Raisers」はホームページでも閲覧可能です!

「Raisers」の最新号から過去記事までホームページで閲覧することができます。

<http://www.itea.or.jp/works/raisers.html>

また、ホームページ内の検索窓から

読みたい記事の関連キーワードにより全文検索も可能です。是非ご活用ください。



Raisers第68巻第1号(通巻第740号) 2020年1月5日印刷 2020年1月10日発行

本体価格600円(税別) ※会員、特別会員の本誌の購読料は、会費の中にこれを含む

■編集 一般社団法人情報通信エンジニアリング協会 〒150-0033 東京都渋谷区猿樂町3-3

Tel. (03) 3464-3211(代) Fax. (03) 3464-3216

■発行所 一般社団法人電気通信協会 〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-1-1 如水会ビルディング6階

Tel. (03) 3288-0608 Fax (03) 3288-0615

(本誌掲載記事の無断転載を禁じます。)

